

よくあるご質問

提供: 株式会社LAVAS

AI について

Q. 生成 AI は間違えると聞きます。間違った数字が質問に入ったら困ります。

A. そのとおりで、生成 AI はもっともらしい誤りを出します。そのため当方の下調べでは、本文に書いた数字ごとに「どの原典（会議録・予算書・統計の該当ページ）で確かめたか」を一覧にして付けます。確かめられなかった数字は「未確認」と明記し、確かめたふりをしません。最終の確認は、必ず議員ご本人・事務所で原典に当たっていただくことを前提にしています。

Q. AI に質問を考えてもらうのですか。

A. いいえ。当方が行うのは事実の整理（論点の要約・自治体の現状・過去の答弁・他自治体の事例・国や県の制度）までです。質問原稿の代筆や、政策についての主張・評価は行いません。何を問うかは議員ご本人が決めることだと考えています。

Q. 事務所の資料を AI に入れるのは心配です。

A. 「議会質問の下調べ」は公開の情報だけで作り、事務所の資料はお預かりしません。「議事録・相談記録の整理」でお預かりする記録は、事務所ごとに分けた作業場所・保存先・鍵で扱い、他の事務所の内容と混ぜません。利用する AI サービスの名称と入力内容の扱いは、ご依頼をお受けするときに書面でお伝えします。

守秘について

Q. ほかの議員の事務所の仕事も受けていますか。

A. 複数の事務所からご依頼をお受けすることがあります（同じ選挙区・同じ会派・異なる会派を含みます）。そのため、どの事務所からご依頼を受けているかは、他の事務所にも外部にも開示しません。「〇〇事務所の仕事をしていますか」というお尋ねには、どの事務所についてもお答えしません。この点はご契約の前に書面でお伝えします。

Q. 内容が他の事務所に伝わらない保証はありますか。

A. 作業場所・保存先・鍵を事務所ごとに分け、作業場所や保存先の名前に事務所名・議員名・地名を入れません。守秘の約束は双方向で、ご契約の終了後も続きます。仕組みの詳細は「事務所ごとに分ける仕組み（説明書）」にまとめています。この仕組みは最初のご依頼をお受けするまでに用意するもので、用意できた内容は作業を始める前に書面でお伝えします。

料金・お支払いについて

Q. まず試してみたいのですが、無料で 1 本作ってもらえますか。

A. 申し訳ありませんが、特定の事務所への無償提供や値引きは行っていません。企業から政治家への無償の役務提供は、政治資金に関する法令上、寄附と見なされるおそれがあるためです。そのかわり、公開情報だけで

作った一般向けの見本をご覧ください。個別の下調べは、全事務所共通の料金表による「1 か月の有償お試し」からご利用ください。

Q. 政務活動費で支払えますか。

A. 充てられるかどうかは、各議会の条例と運用の手引きによります。会派または議会事務局でご確認ください。当方では、処理に必要な見積書（ご依頼の前）・領収書（宛名・但し書きは事務所のご指定どおり）・実施記録（実施日・内容・成果物／研修は日時・場所・内容・出席者数）をご用意します。

Q. 選挙でも使えますか。

A. 平時（政務）のサービスとは分けています。選挙に関わる費用に政務活動費は充てられません。選挙に関わるとご相談は、告示前の政治活動の支援までを個別にお受けし、告示後は機械的な作業に限ります。契約・料金・書面も平時のものとは分けます。

進め方について

Q. 最初に何をすればよいですか。

A. 30 分ほどお時間をいただき、下調べの見本をいっしょにめくります。そのうえで「次の定例会まで1 か月、下調べと議事録の整理を有償で試すか」をお決めください。その場で決めていただく必要はありません。

Q. 下調べは1 本どのくらいで届きますか。

A. テーマと締切をうかがってから個別にお伝えします。見本1 本の作成に要した時間は、見本の末尾に実測値として記載しています（人による原典の再確認の時間は含みません）。

Q. 誰が担当しますか。

A. 代表の森本洋平が担当します。岐阜県職員労働組合連合会の書記として7 年、交渉・会議の議事録と資料づくりを担当し、2023 年から AI の導入支援・研修に従事しています（オフラインのセミナー・説明会 100 回以上、オンライン勉強会 500 回以上。過去3 年・本人集計）。現在、地方の首長選で AI 顧問を務めています。